

英語1A (English 1A)					担当教員
					准教授 今井 千壽
科目群	開講期	授業形態	単位数	必修等	
外国語	1年次 前期	講義	1.5単位	必修	

【概要】

英語運用能力の向上には、まず基礎が確立されていることが不可欠であるが、最近はずしもそれが出来ていない傾向が見られる。そこで本授業では、文法・構文・語彙等に関して、今後大学で科学的な文章を読み書きする場合、特に重要と思われるものを選び、解説する。さらに、自然科学系の文章を教材として使用しながら、薬学英语学習にもつながるような英語技能を養成する。CDによる聞き取りの練習、及び英語でのプレゼンテーション(グループ毎)も毎回行う。

【授業の一般目標】

基本的な英語の知識を確実に身につけ運用できるようにする。同時に、英語長文を読み、その中の情報をすばやく的確に把握する能力の習得を目指す。

語学の学習には個人の不断の努力が必要であることを自覚して、真面目に授業に取り組んでもらいたい。

【準備学習(予習・復習)】

復習は必須であり、授業で扱った英文を読み直し、重要事項や語彙を確実に定着させることが肝要である。また、ほぼ毎週宿題を課すので、必ず期限内に提出すること。プレゼンテーション担当グループは事前に十分準備すること。

【学習項目・学生の到達目標】

No	学習項目	担当教員	学生の到達目標
1	イントロダクション	今井	講義の方針や進行方法等について理解する。
2	時制	今井	文法事項等に留意しながら長文を読み、内容を正確に理解できる。
3	能動態と受動態(1)	今井	能動態と受動態の違い、効果的な用法について知識を修得する。
4	能動態と受動態(2)	今井	文法事項等に留意しながら長文を読み、内容を正確に理解できる。 英語によるプレゼンテーションに慣れる。
5	分詞(1)	今井	分詞、特に分詞構文が正しく使える。 英語によるプレゼンテーションに慣れる。
6	分詞(2)	今井	文法事項等に留意しながら長文を読み、内容を正確に理解できる。 英語によるプレゼンテーションに慣れる。
7	助動詞(1)	今井	様々な助動詞の意味の違いや用法について理解できる。 英語によるプレゼンテーションに慣れる。
8	助動詞(2)	今井	文法事項等に留意しながら長文を読み、内容を正確に理解できる。 英語によるプレゼンテーションに慣れる。
9	冠詞(1)	今井	不定冠詞、定冠詞、無冠詞の使い分けがある程度できる。 英語によるプレゼンテーションに慣れる。
10	冠詞(2)	今井	文法事項に留意しながら長文を読み、内容を正確に理解できる。 英語によるプレゼンテーションに慣れる。
11	仮定法(1)	今井	仮定法の多様なパターンの使い分けができる。 英語によるプレゼンテーションに慣れる。
12	仮定法(2)	今井	文法事項に留意しながら長文を読み、内容を正確に理解できる。 英語によるプレゼンテーションに慣れる。
13	句読法	今井	様々な句読点(記号)の意味について理解できる。
14	その他	今井	上記以外の文法事項について理解できる。
15	総括・まとめ		

(書名)
教科書 Closing the Culture Gap

(著者・編者)
Timothy Kiggell

(発行所)
MACMILLAN LANGUAGEHOUSE

リーディングに関してはhandout配布

【成績評価方法・基準】

定期試験(70%)、受講態度(10%)、プレゼンテーションと宿題(20%)により評価する。

【オフィスアワーなど担当教員に対する質問等の方法】

オフィスアワーは金曜の16:00～17:00(育心館4F今井准教授室)。所用でオフィスアワーを持っていないときもあるので、メール等で事前に確認すること。